

令和7年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	彩の国ボランティア体験プログラム 2025
2	実施社会福祉協議会	飯能市社会福祉協議会
3	協力団体	飯能市内の福祉施設やボランティア団体など
4	活動年月日	令和7年7月23日～9月30日
5	活動場所	飯能市内の福祉施設、公共施設など
6	内容	こども・障がい者・高齢者・国際関係・まちづくり・多世代交流に関するボランティア
7	活動の様子	

彩の国ボランティア体験プログラム2025 **活動レポート集**



ボランティア活動 インタビュー



F さん（一般）

ぽかぽかキッズ・ステーション体験

高齢者が多い病院で勤務している経験を活かして、以前から興味があったボランティアをしたいと思い、参加しました。

最初は緊張しましたが、子どもたちが声をかけてくれて一気に緊張も和らぎました。体験先では、常に周りを見ていないといけない環境なので、1人の子に集中しないようにしました。また、着替えや食事介助などは本職を活かすことができますが、ボランティアでの参加という立場なのに、半分職員のような気持ちになってしまい、どこまで踏み込んで良いのか分からないことが少し大変だったかなと思います。

体験してみて、災害ボランティアとは異なり、今回のように施設へ出向くボランティアは受け身だと思っていたのですが、職員の方と一緒に積極的に遊んだりして自主性も求められるな、と感じました。

本職とは違う環境に接することができたので、またお手伝いさせてもらえたら嬉しく思います。



I like interacting with children



体験先管理者 篠崎様より

たくさんの方がここを選んで、障がいの有無に関わらず、同じ子どもとして接してもらえることがとても嬉しいです。

この体験が、皆さんの将来を考えるきっかけの1つになれば良いと思います。



U さん（高校生）

児童センター「遊びのたんけん隊」・ぽかぽかキッズ・ステーション体験

「自分の経験を積む」「お互いに楽しく」を目標に取り組みました。《遊びのたんけん隊》では、学年や子によってわかる度合いが異なるため、言葉選びが難しかったですが、いろいろと試行錯誤しながら教えたことで、笑顔になってもらえたときは嬉しかったです。もう少し積極的に話したかったなと思いました。

《キッズ・ステーション》では、特にその子に合った対応を考えることが大変でしたが、すぐに子どもたちと溶け込み笑い合っていました。一緒に楽しむことができ、とても貴重な経験ができました。

ボランティアのイメージは、参加する前と変わらずでした。ぜひ、また参加したいと思います。ありがとうございました。



お互いに楽しく

A bright smile



K さん（中学生）

地域子育て支援拠点いるかひろば・なぐりの茶の間 配食ひまわりの会原市場・原市場の森を育てる会 体験

私は、ボランティア活動を通して、いろいろな体験ができました。

《いるかひろば》では、子どもたちと遊びながら、私の弟妹が幼い頃を思い出し、やっぱり私は子どもが好きなんだなと思いました。

《配食ひまわりの会原市場》では、皆さんと一緒にお料理をしたり、作ったお弁当を車に積み込んで配りました。お弁当を渡した時に、笑顔で「ありがとう」の言葉をもらった時は、嬉しかったです。

《原市場の森を育てる会》では、身近な森を知ることができ、体を動かして活動できたことがとても楽しかったです。

《なぐりの茶の間》では、地域の方々といろいろなお話をしました。

目標の「最後までやり切る」が達成できて良かったと思います。



最後までやり切る

Fun Facts:

